



# 平成29年度 泉佐野市の財政状況

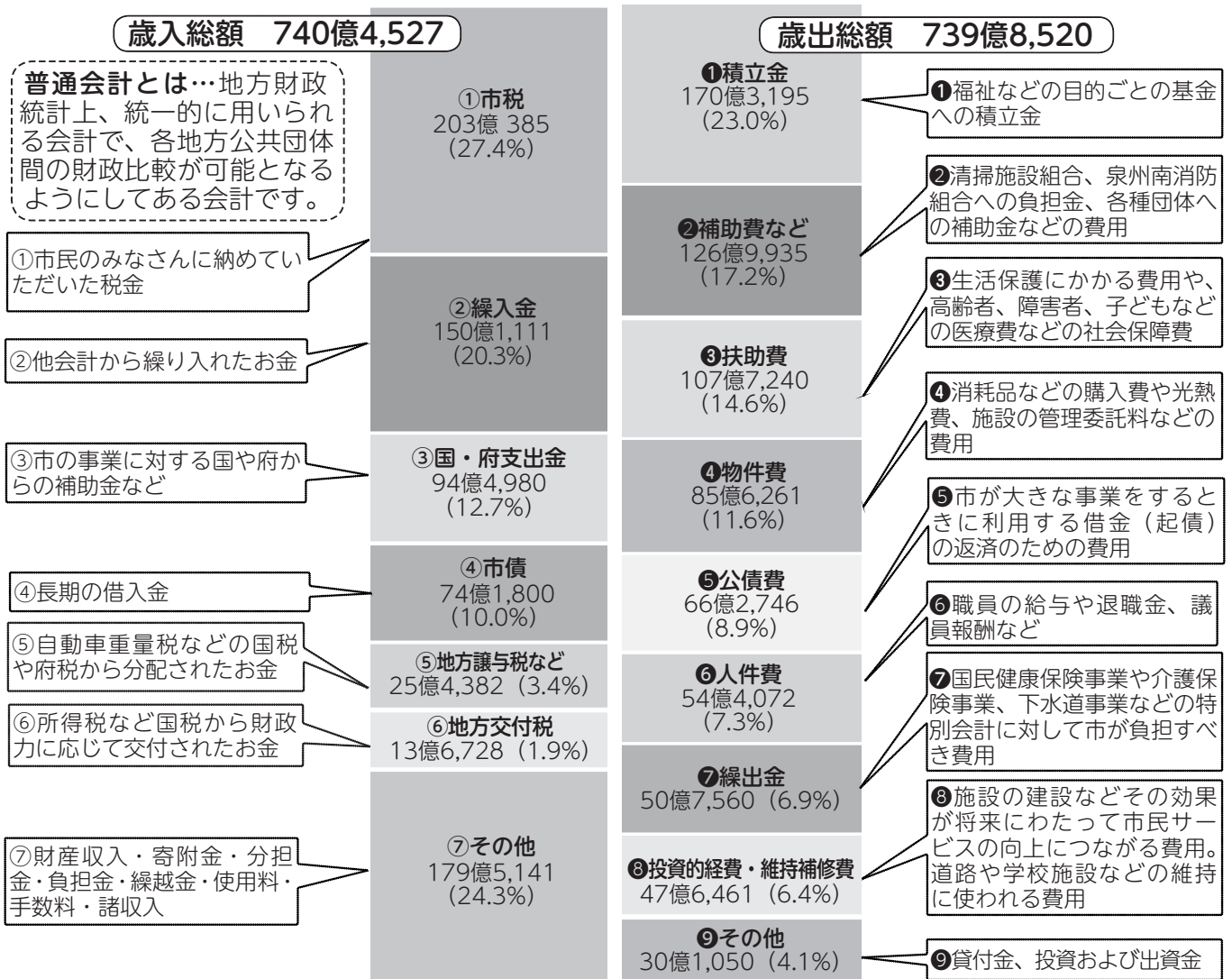
問合せ 行財政管理課

決算の特徴としては、平成27年3月に策定した中期財政計画に基づく給与カットなどによる歳出削減のほか、遊休土地の積極的な売却、ふるさと応援寄附の推進および空港連絡橋利用税の徴収などの歳入確保に努めたことにより、前年度に引き続き5,700万円の黒字となりました。

<b>歳入総額</b>	<b>歳出総額</b>	<b>翌年度繰越財源</b>	<b>実質収支額</b>
740億4,527万円	739億8,520万円	308万円	= 5,699万円

## 平成29年度 普通会計の決算

(単位:万円)



### 市民1人あたりでは…

<b>歳入 735,927円</b>	固定資産税 99,217円	<b>歳出 735,330円</b>	総務費 310,927円	消防費 11,966円
●市税 201,798円	市民税 63,109円	●民生費 166,349円	●民生費 166,349円	●商工費 8,643円
●国庫支出金、府支出金 93,920円	市たばこ税 18,744円	●衛生費 72,913円	●衛生費 72,913円	●議会費 2,746円
●市債 73,727円	都市計画税 14,278円	●公債費 65,870円	●公債費 65,870円	●その他(労働費など) 7,452円
●その他(繰入金など) 366,482円	軽自動車税 2,247円	●土木費 49,636円	●土木費 49,636円	
	入湯税 99円	●教育費 38,828円	●教育費 38,828円	
	法定外普通税 4,103円			

## 安全・安心なまちづくり

### ■泉佐野南部公園（防災公園）の整備



- 南部・北部市民交流センターの耐震化
- 防災行政無線の整備

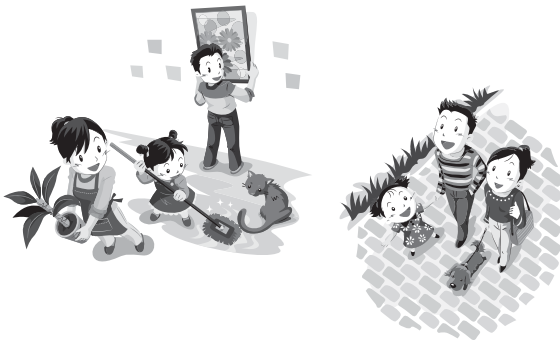
### ■避難所に防災備蓄倉庫を設置

### ■南海「鶴原」駅のバリアフリー化整備の補助



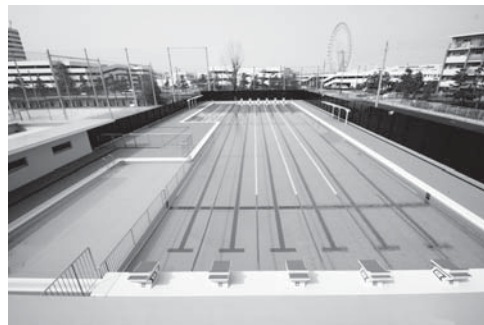
## まちの活性化・賑わいの創出

- 熊取駅西地区の本市域内を市街化区域として整備を推進
- 他市から本市へ移住を希望する人に「おためし移住」として家賃を一定期間助成



## 教育・子育て支援

### ■佐野中学校にプールを設置



- 日根野小学校の校舎を大規模改修
- 留守家庭児童会の長期休業期間中の対象児童を小学4年生までから小学6年生まで拡充
- 小学校35人学級を小学4年生までから小学6年生まで拡充

平成29年度に実施した主要事業

## 各会計決算（歳出）

（単位：万円）

会計名	平成29年度	平成28年度	比較
一般会計	708億4,558	575億8,986	132億5,572
国民健康保険事業特別会計	129億2,938	135億6,572	△6億3,634
下水道事業特別会計	63億1,219	65億7,350	△2億6,131
公共用地先行取得事業特別会計	5億7,410	3億5,100	2億2,310
介護保険事業特別会計	81億9,474	79億1,893	2億7,581
後期高齢者医療事業特別会計	11億2,232	10億7,505	4,727
水道事業会計	25億5,326	24億7,691	7,635
病院事業債管理特別会計	43億3,537	18億3,098	25億 439
りんくう公園事業特別会計	7,120	0	7,120
合計	1,069億3,814	913億8,195	155億5,619



### 平成29年度末残高

#### ●市債（長期借入金）

…667億円

市民1人あたり 662,898円

#### ●積立金…106億円

市民1人あたり 105,288円

### 健全化判断比率の状況

実質赤字比率と連結実質赤字比率は、黒字により数値はバー表記、実質公債費比率は、18.2%と前年度から2.7ポイントの改善、将来負担比率も149.1%と前年度より27.1ポイント改善し、いずれも早期健全化の基準未満となっています。

(単位：%)

健全化判断比率	平成28年度実績値	平成29年度実績値	早期健全化基準
実質赤字比率	-	-	12.26
連結実質赤字比率	-	-	17.26
実質公債費比率	20.9	18.2	25.0
将来負担比率	176.2	149.1	350.0

**実質赤字比率**…標準財政規模\*に対する、一般会計などに生じている赤字の大きさの割合

**連結実質赤字比率**…標準財政規模に対する、水道や下水道など公営企業を含む全会計に生じている赤字の大きさの割合

**実質公債費比率**…標準財政規模を基本とする額に対する、借入金返済額の大きさの割合

**将来負担比率**…標準財政規模を基本とする額に対する、借入金など現在抱えている負債の大きさの割合

\*標準財政規模…市の経常的な一般財源の規模を示すもので、標準的な税収入額に普通交付税などを加算した額(平成29年度決算：約226億円)



### 今後の取り組み項目

#### 【支出の抑制、効果的な行政運営に関する事項】

- 事務事業の継続した見直し
- 広域連携の推進
- 窓口業務委託をはじめ民間委託の拡充
- 定員適正化計画に沿った定員削減
- 給与水準の適正化などによる総人件費の抑制

#### 【収入の確保に関する事項】

- 滞納処分の強化および徴収率の向上
- 遊休財産の積極的な売却
- ふるさと応援寄附金制度、ネーミングライツなどの更なる税外収入の確保

### 中期財政計画期間終了時の目標

- 実質公債費比率は23.5%以下
- 地方債残高は標準財政規模の3.4倍以下
- 基金残高は18億円以上を保持

## 主な会計の決算



平成28・29年度の2カ年で日根野浄水場内の中央監視制御システムの更新工事が完成しました。府道土丸栄線および国道26号線などの老朽管の更新工事を行い、安全で良質な水道水の安定供給を図るとともに、ライフライン機能の強化に努めました。

#### 平成29年度決算内訳 (単位：万円)

収 益		費 用	
営 業	26億2,548	営 業	24億 462
営 業 外	3億 470	営 業 外	1億4,310
特別利益	239	特別損失	554
-	-	純 利 益	3億7,931
合 計	29億3,257	合 計	29億3,257

#### 【主な事業】

水道事業会計は、事業収益29億3,257万円(前年度比0.5%増)に対し、事業費用25億5,326万円(前年度比3.1%増)で、3億7,931万円の純利益が生じました。

### 水道事業会計

問合せ先 上下水道局 (水道事業)  
☎467-2800  
Fax467-1801

### 水を大切に



- 導・送・配水管総延長 460.99km (平成30年3月31日現在)
- 総配水量 (年間) 1,397.4万<sup>m</sup>
- 企業団水1,183.3万<sup>m</sup>+自己水214.1万<sup>m</sup>
- 1日平均配水量 3万8,285<sup>m</sup>
- 1人あたり1日平均配水量 381ℓ

■給水装置工事や漏水修理の申込は市指定工事業者へ (<https://www.water.izumisano.osaka.jp/>)

### 上下水道局からのお願い

市では、昭和44年4月1日から、鉛管の使用を禁止してきましたが、それ以前に給水装置を設置した建物では、鉛管を使用していることがあります。この場合、長時間水道を使用しないと、水道管から微量の鉛が溶け出したり、消毒用塩素濃度の低下や赤水が発生する場合があります。朝一番や長時間留守にした場合は、バケツ1杯程度の水道水を飲み水以外に使用するようお願いします。

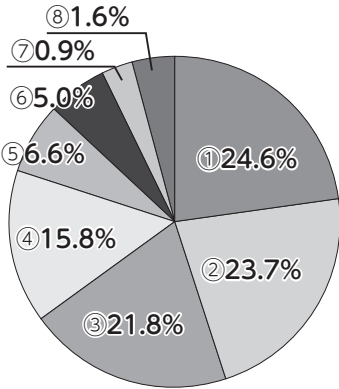


## 国民健康保険事業特別会計

問合せ 国保年金課

国民健康保険事業特別会計は、歳入132億8,491万円に対して、歳出129億2,938万円で、差引3億5,553万円の黒字となりました。単年度では1億7,418万円の黒字となっています。

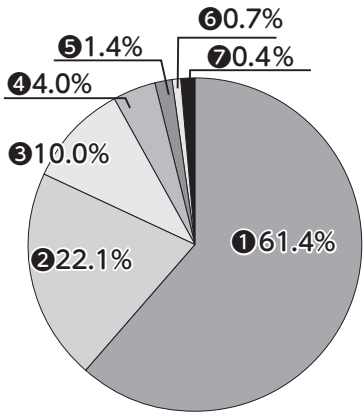
### 歳入 132億8,491万円



科目	金額(万円)
①共同事業交付金	32億7,033
②国庫支出金	31億5,233
③前期高齢者交付金	28億9,551
④保険料	21億 319
⑤繰入金	8億7,208
⑥府支出金	6億6,721
⑦療養給付費交付金	1億1,566
⑧その他	2億 860



### 歳出 129億2,938万円



科目	金額(万円)
①保険給付費	79億4,345
②共同事業拠出金	28億6,222
③後期高齢者支援金	12億8,595
④介護納付金	5億2,107
⑤総務費	1億8,104
⑥保健事業費	8,523
⑦その他	5,042

### 府内平均を大幅に上回る医療費

平成28年度の本市国保被保険者1人あたりの医療費は40万3,082円と府内5番目で、府内平均の36万7,280円を大きく上回っています。これは、ほかの市町村に比べレセプト1件当たりの診療日数および診療費が多くなっていることが影響しています。

以前からジェネリック医薬品の利用促進や柔道整復などの適正受診の啓発などの医療費適正化の取組を進めていますが、1人あたり医療費は増加し続けており、府内でも引き続き高いレベルにあります。

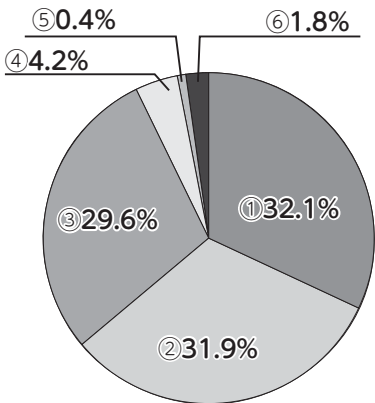
### 病気は未然に防ぎましょう

本市では市民の健康づくりを推進するため、健康ハイキング、ウォーキングチャレンジ、温水プール体験教室などの保健事業を実施しています。また、生活習慣病予防に着目した特定健診・特定保健指導の推進も図っています。これは内臓脂肪型肥満や糖尿病、高血圧、高脂血症などの危険因子が重なるほど、心疾患や脳血管疾患を発症する危険が増大することから、生活習慣病予防に取り組むこととなったものです。



その他、被保険者のみなさんには、人間ドック・脳ドックや健診センターで実施している各種検診を利用して、病気の予防、早期発見、早期治療に努めていただき、さらなる健康寿命の延伸や医療費の適正化にご協力をお願いします。

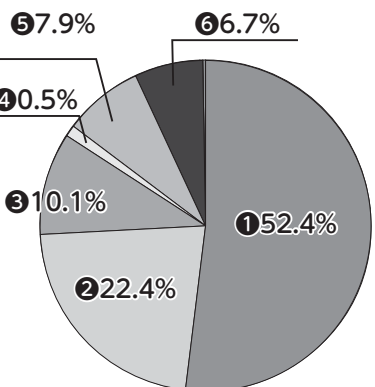
### 歳入 52億2,758万円



科目	金額(万円)
①使用料	16億7,753
②起債	16億6,920
③一般会計繰入金	15億4,815
④国庫補助金	2億2,120
⑤受益者負担金	2,030
⑥その他	9,120



### 歳出 63億1,219万円



科目	金額(万円)
①公債費	33億1,049
②前年度繰上充用金	14億1,577
下水道建設費	
③公共下水道建設費	6億3,641
④流域下水道建設負担金	3,177
⑤中部・南部処理場維持管理負担金	4億9,759
⑥一般管理費・人件費	4億2,016

## 下水道事業特別会計

問合せ 上下水道総務課

☎450-2222 Fax450-2223

昭和61年度より着手している公共下水道の平成29年度末整備面積は雨水435ha、汚水889ha（りんくうタウン含む）で、汚水の下水道人口普及率は38.4%となっています。

下水道財政状況は、平成29年単年度で3億3,115万円の黒字となりましたが、累積では、歳入額52億2,758万円に対して、歳出額63億1,219万円で、10億8,461万円の不足が生じています。

今後も引き続き事業費の縮小、人件費・事務経費の節減、下水道使用料の適正化などにより、下水道財政の健全化を図っていきます。

厳しい財政状況が続いていますが、可能な限り下水道工事を進めていきます。市民のみなさんには下水道が利用できるようになりましたら、3年以内にトイレの水洗化を行うなど、ご理解ご協力をお願いします。